報道資料

平成24年2月13日(月)

件名 在日米軍再編の見直しに関する外務大臣・防衛大臣への要望結果について

このことについて、本日(13日)、下記のとおり要望を行いましたので、その概要をお知らせします。

記

1 要望先

外務省 外務大臣 玄葉 光一郎(げんば こういちろう)

防衛省 防衛大臣 田中 直紀(たなか なおき)

2 要望者

山口県知事 二井 関成(にい せきなり)

岩国市長 福田 良彦(ふくだ よしひこ)

3 要望に対する主な回答及び発言

【玄葉外務大臣】

○ 地元の知事、市長として、このような追加的な移転は到底受け入れがたいというお立場であることは十分に認識している。

○ 在沖縄海兵隊の岩国飛行場への追加的な移転をお願いするつもりはないので、安心していただきたい。

【田中防衛大臣】

○ 山口県や岩国市には米軍再編により、空母艦載機の移駐やKC-130の移駐など、多大なる御負担をお願いしているところ、在沖海兵隊の一部が岩国基地へ移転する旨報道されたことにより、地元の皆様方に不安を与えたことについては、遺憾である。

○ 防衛省としては、「これ以上の負担増は認められない。」という米軍再編に対する山口県及び岩国市のお考えについて、十分に理解しており、これまでも累次にわたり御回答しているとおおり、これ以上の負担増をお願いする考えはない。

○ 在沖海兵隊を岩国基地へ移転させるとの日米協議は行っておらず、今まで地元の皆様との良好な関係を築くことに最大限努力してきた防衛省としては、岩国基地に新たに海兵隊を移転させるという考えは、一切ない。

【山口県知事及び市長】

○ これから、4月下旬の2プラス2の開催に向け、様々な日米協議が行われると思うが、是非とも、岩国にはこれ以上の負担はさせないというスタンスで対応していただきたい。

○ 愛宕山開発用地の売買契約については、岩国にはこれ以上の負担がないということが明確になるまで保留せざるを得ないと考えているので、これからの日米協議の状況等を見極める必要があると考えている。

4 市長コメント

両大臣が在沖縄海兵隊の岩国基地への移転について明確に否定され、本市に、これ以上の負担をお願いする考えはないとの認識を示されたことから、疑念はある程度払拭されたと感じたところである。

愛宕山問題については、今後の日米協議の状況を注視するとともに、本日の両大臣の発言を踏まえた政府の対応を慎重に見極め、知事とも協議し、適切に対応してまいりたいと考えている。

担当課 岩国市総合政策部基地政策課

TEL0827-29-5024/Fax0827-21-3572

岩国市都市建設部拠点整備推進課

TEL0827-29-5164/Fax0827-24-4207